

中期経営計画(第3次)の
取組状況について

平成25年11月15日(金)
千葉県立病院運営懇談会

千葉県病院局中期経営計画(第3次)

1 策定方針

- (1) 医療を取り巻く環境変化に対応しつつ、県立病院の果たすべき役割と機能を強化し、医療の質の向上を目指します。
- (2) 患者の視点に立った患者サービスの向上を目指します。
- (3) さらなる経営基盤の強化を図るとともに、病院職員の力が最大限に発揮される環境づくりを目指します。

2 計画の4つの柱

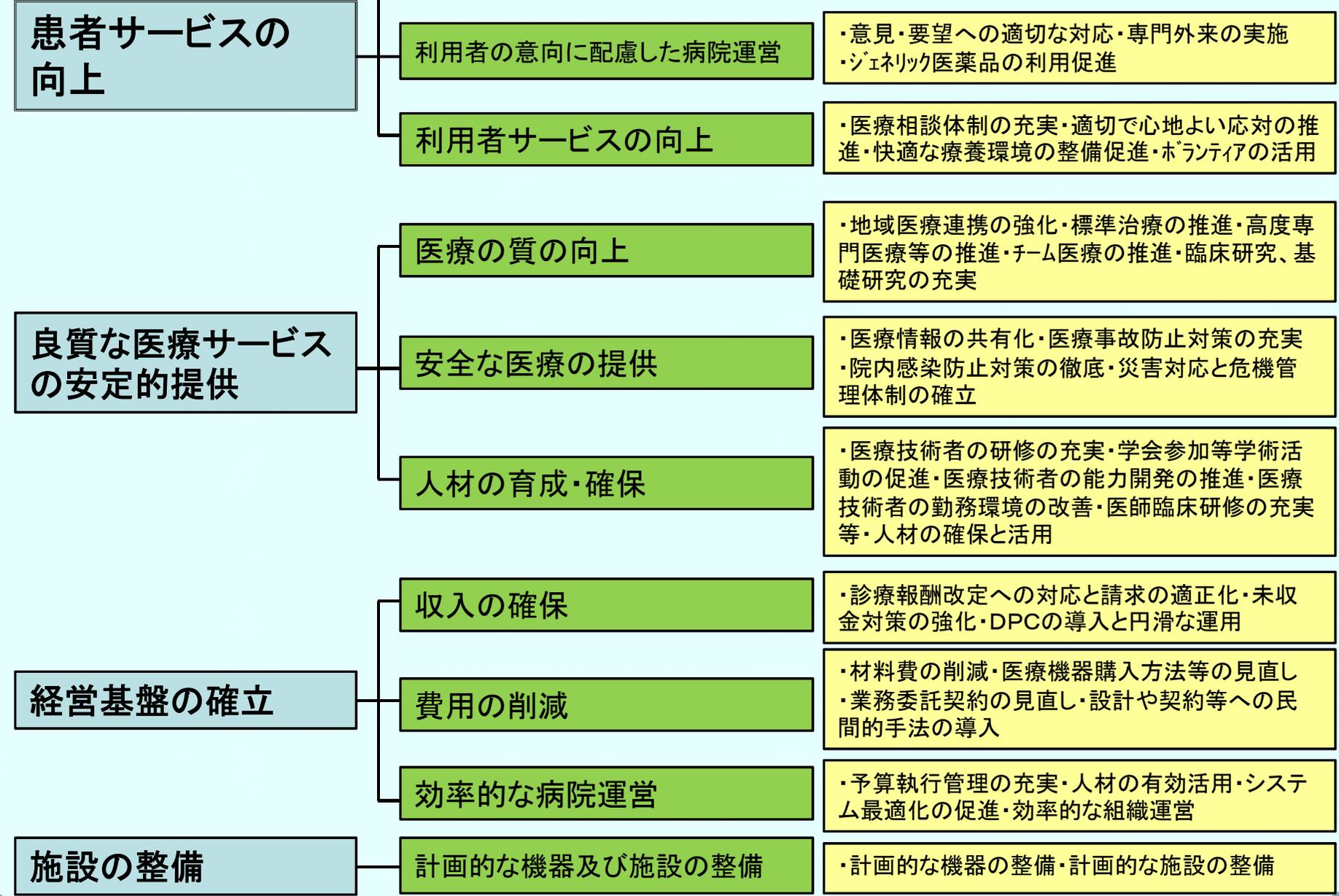
- (1) 患者サービスの向上
- (2) 良質な医療サービスの安定的提供
- (3) 経営基盤の確立
- (4) 計画的な機器及び施設の整備

3 計画期間

平成24年度から平成28年度までの5年間

※ 第1次計画(平成17年度～19年度) 第2次計画(平成20年度～23年度)

4 施策体系図



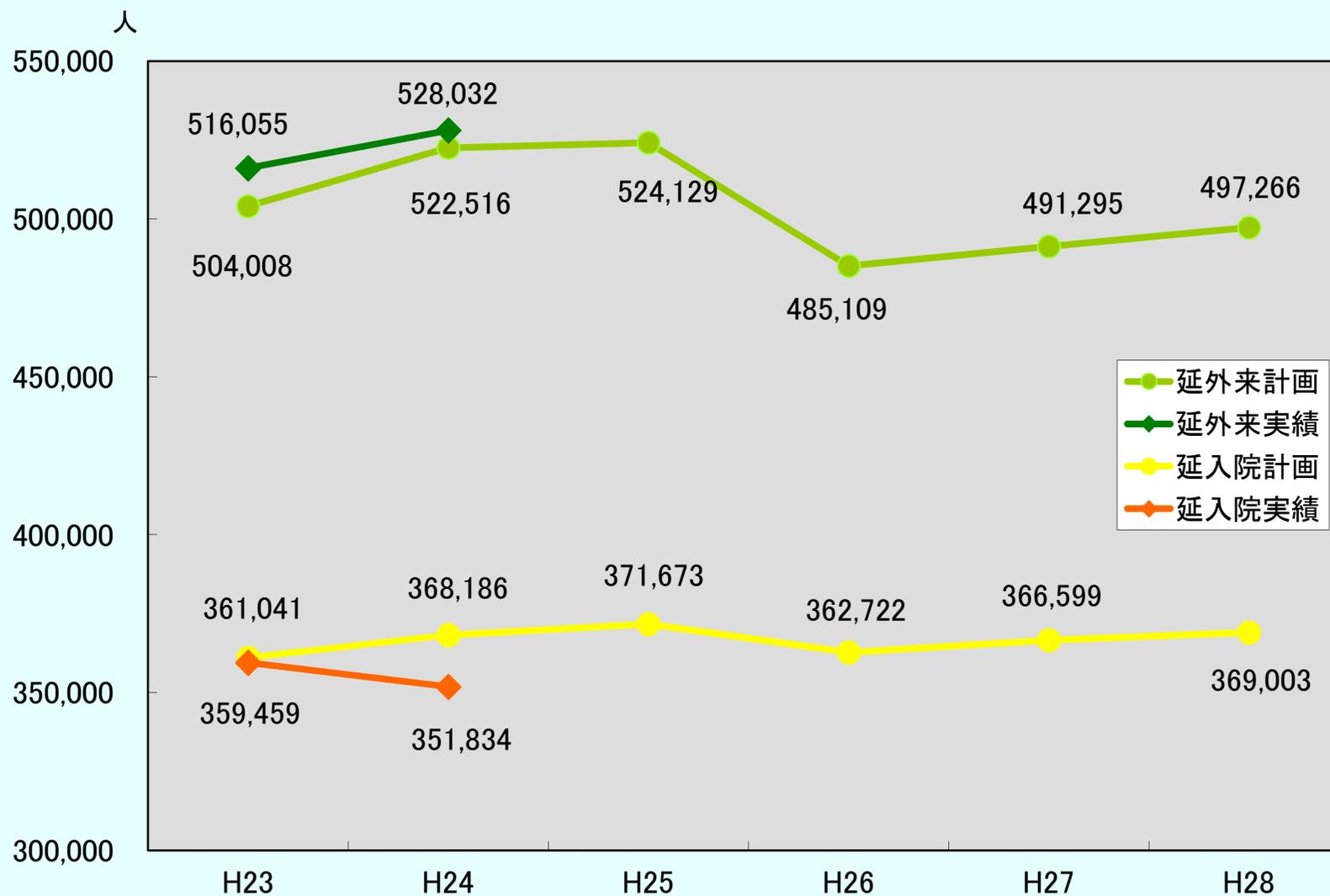
5-1 中期財政収支計画における総収支計画値及び実績

(単位:百万円)

区 分	24年度	24年度 (実績)	25年度	26年度	27年度	28年度
収益	43,812	44,014	44,889	43,799	44,371	44,890
医業収益	32,884	32,745	33,908	33,248	33,777	34,263
医業外収益	10,928	11,269	10,981	10,551	10,594	10,627
費用	43,137	42,727	44,188	42,673	42,767	43,244
医業費用	42,245	40,733	43,296	41,843	41,969	42,455
医業外費用	891	1,994	891	830	797	789
総収支	676	1,287	701	1,126	1,604	1,646

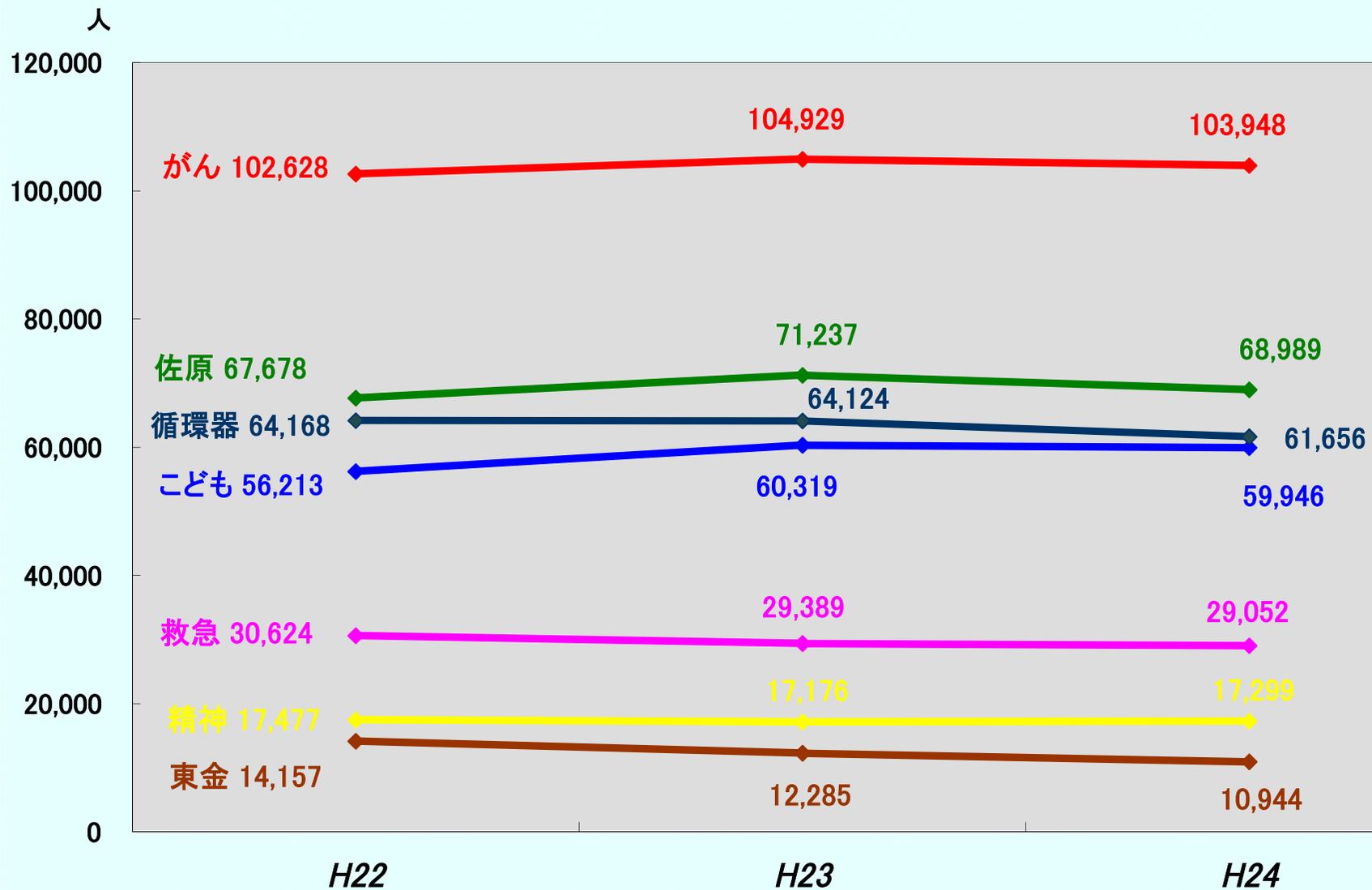
- ・平成26年度以降は、東金病院を除く数値。
- ・計画値は診療報酬の改定を加味していない。

5-2 延入院患者数・延外来患者数の推移

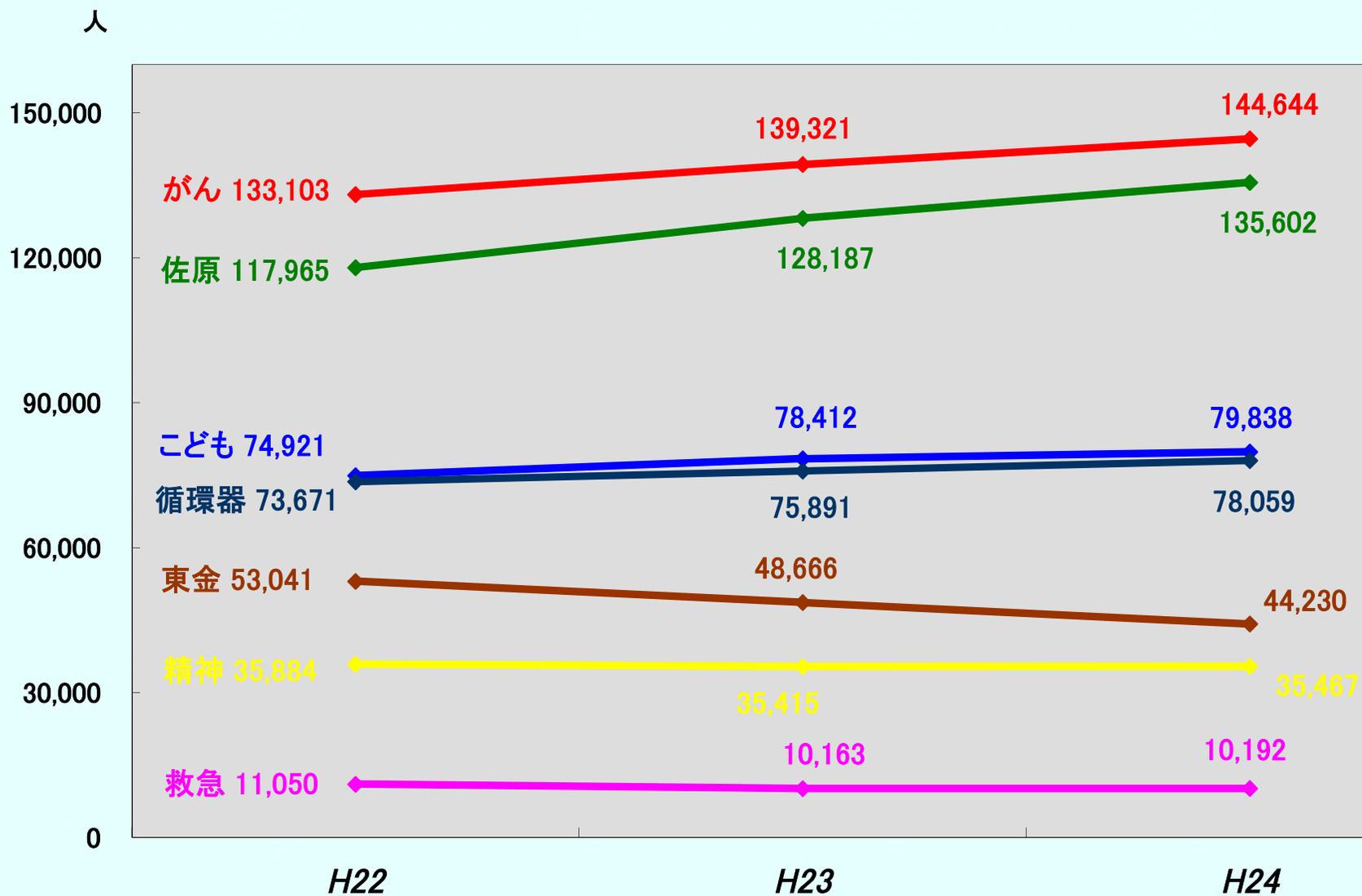


H23→H24の患者の推移(延入院△7,625人 延外来+11,977人)

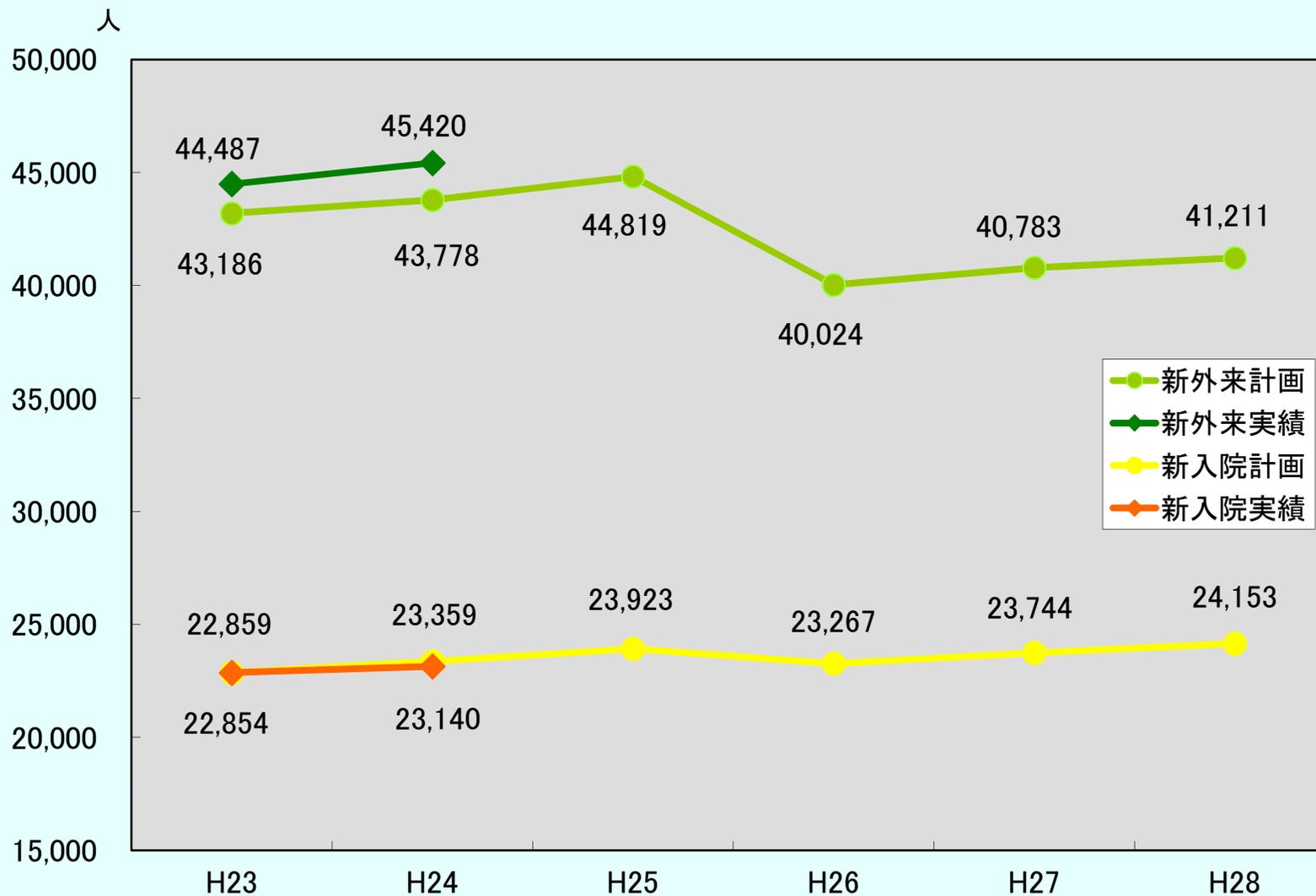
5-3 病院別 延入院患者数の推移



5-4 病院別 延外来患者数の推移

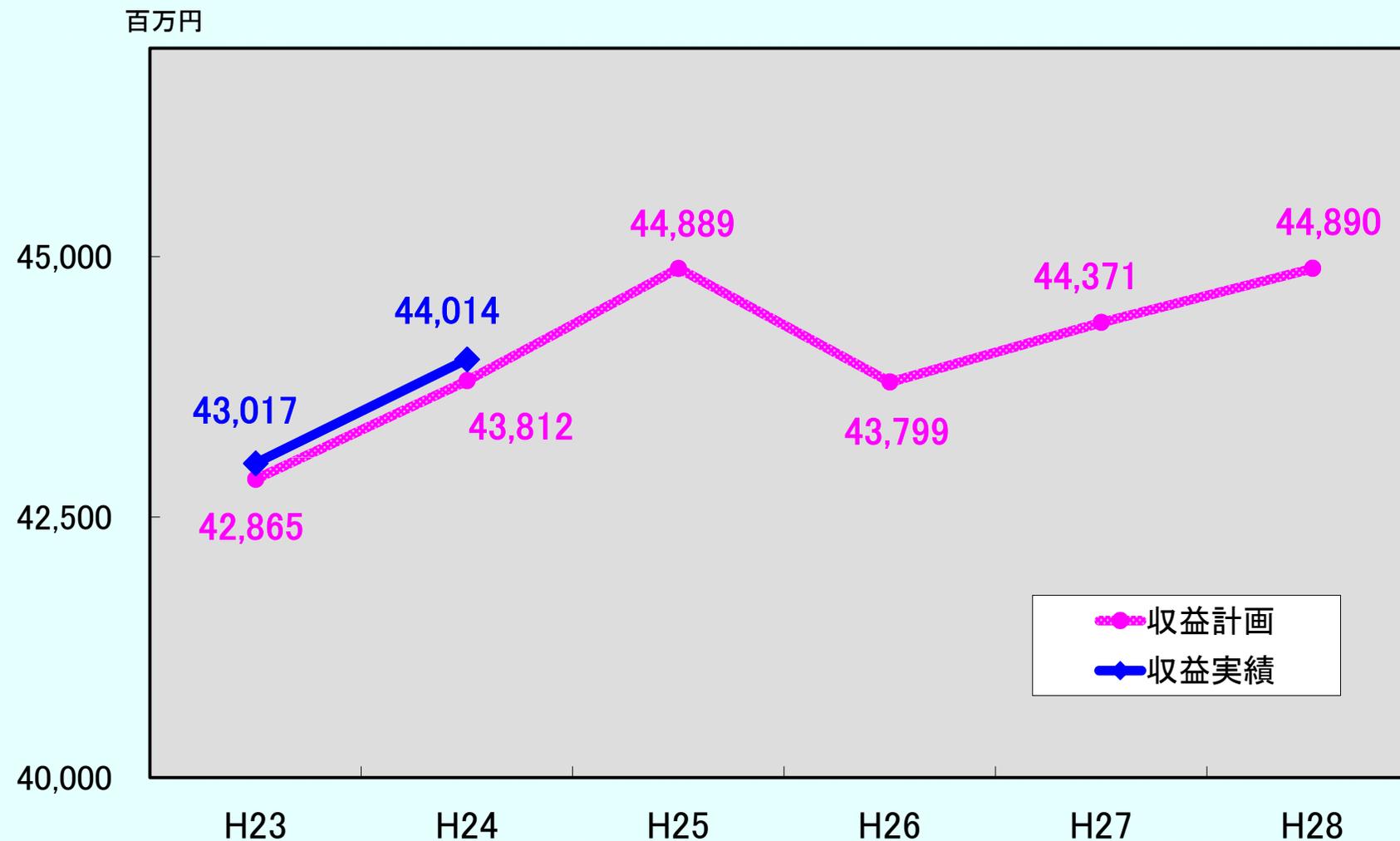


5-5 新入院患者数・新外来患者数の推移



H23→H24の患者の推移(新入院+286人 新外来+933人)

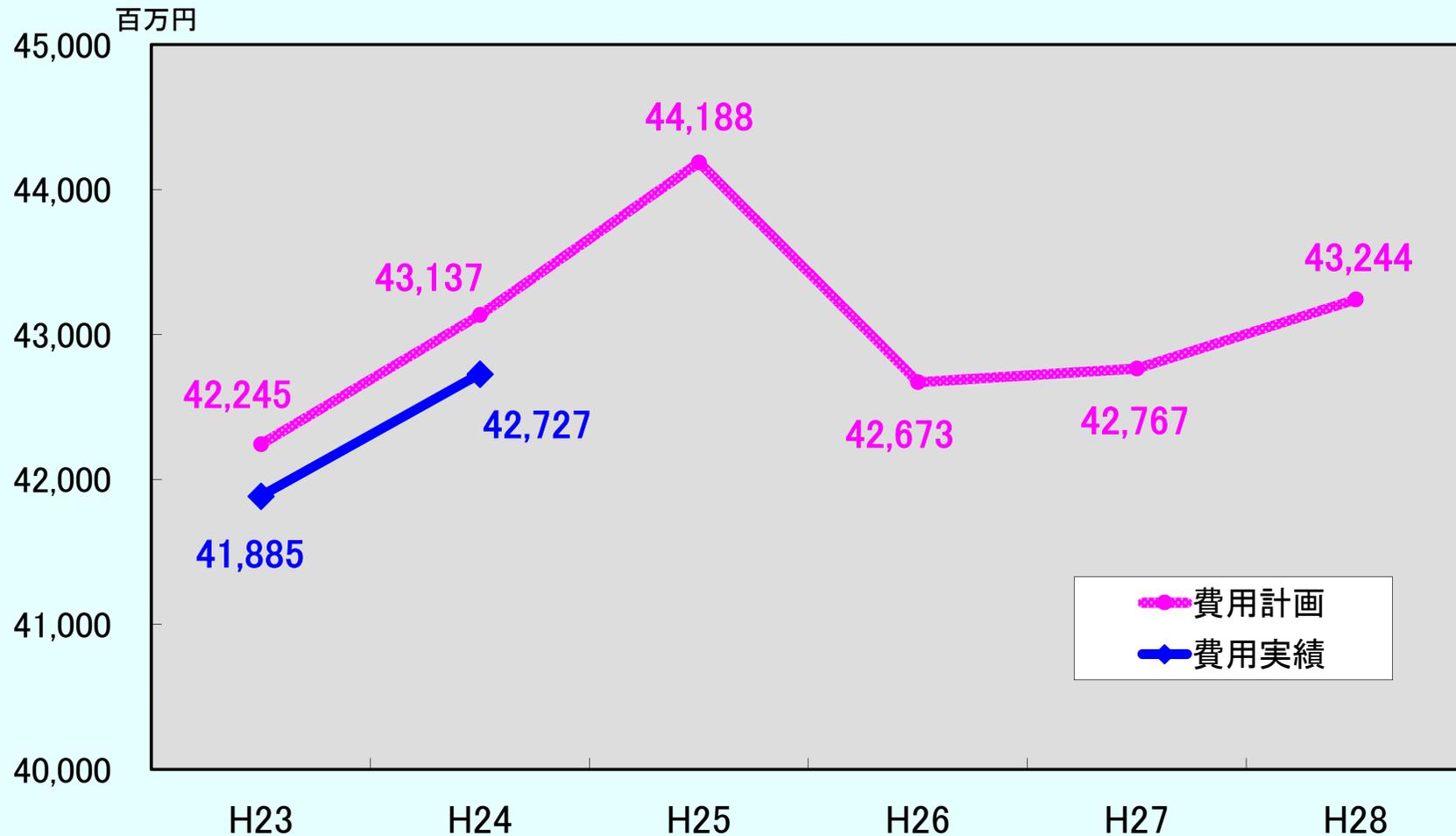
5-6 収益の推移(病院事業全体)



H23→H24の収益の伸び

診療報酬改定、外来患者増等により +2.3%

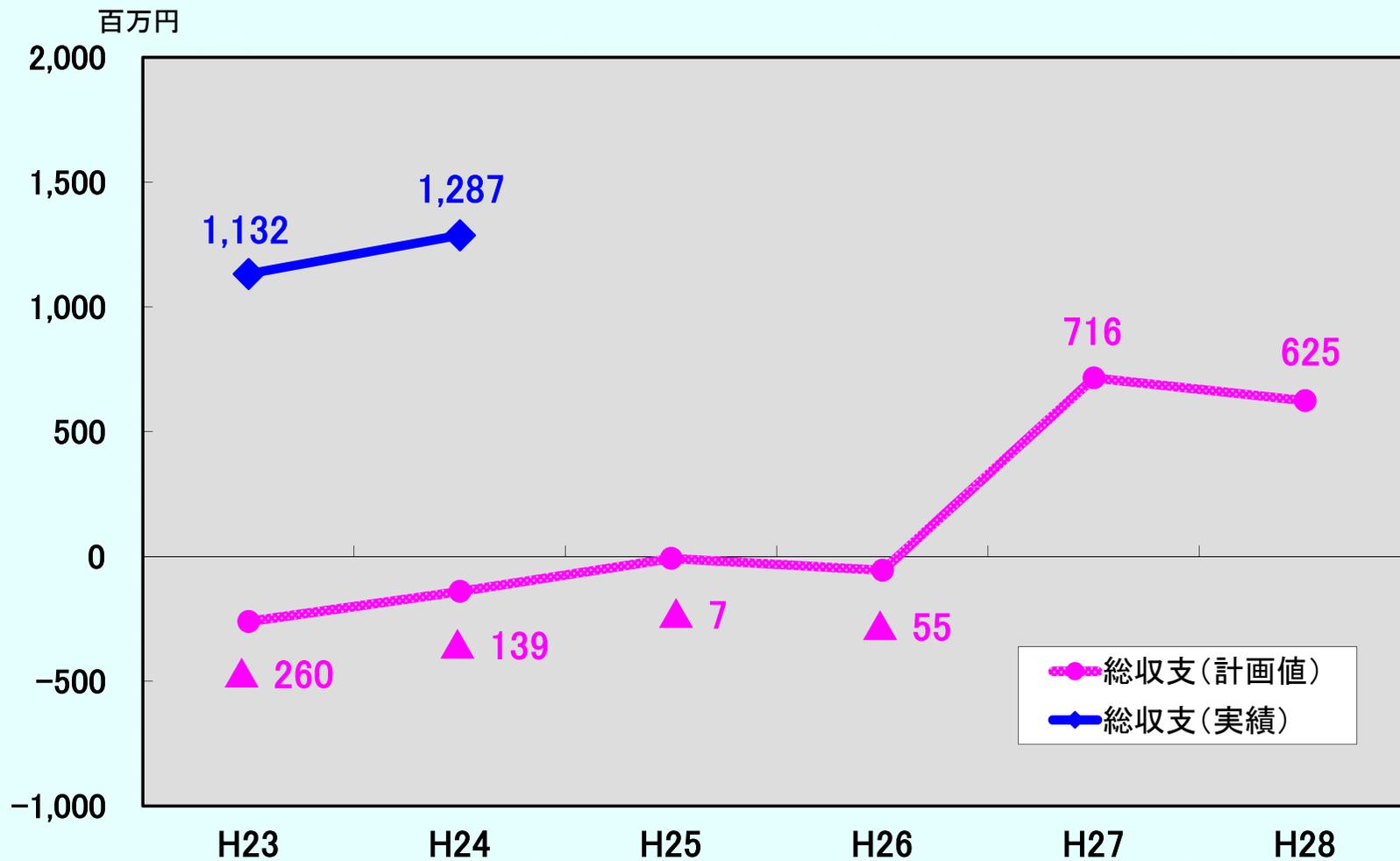
5-7 費用の推移(病院事業全体)



H23→H24の費用の伸び

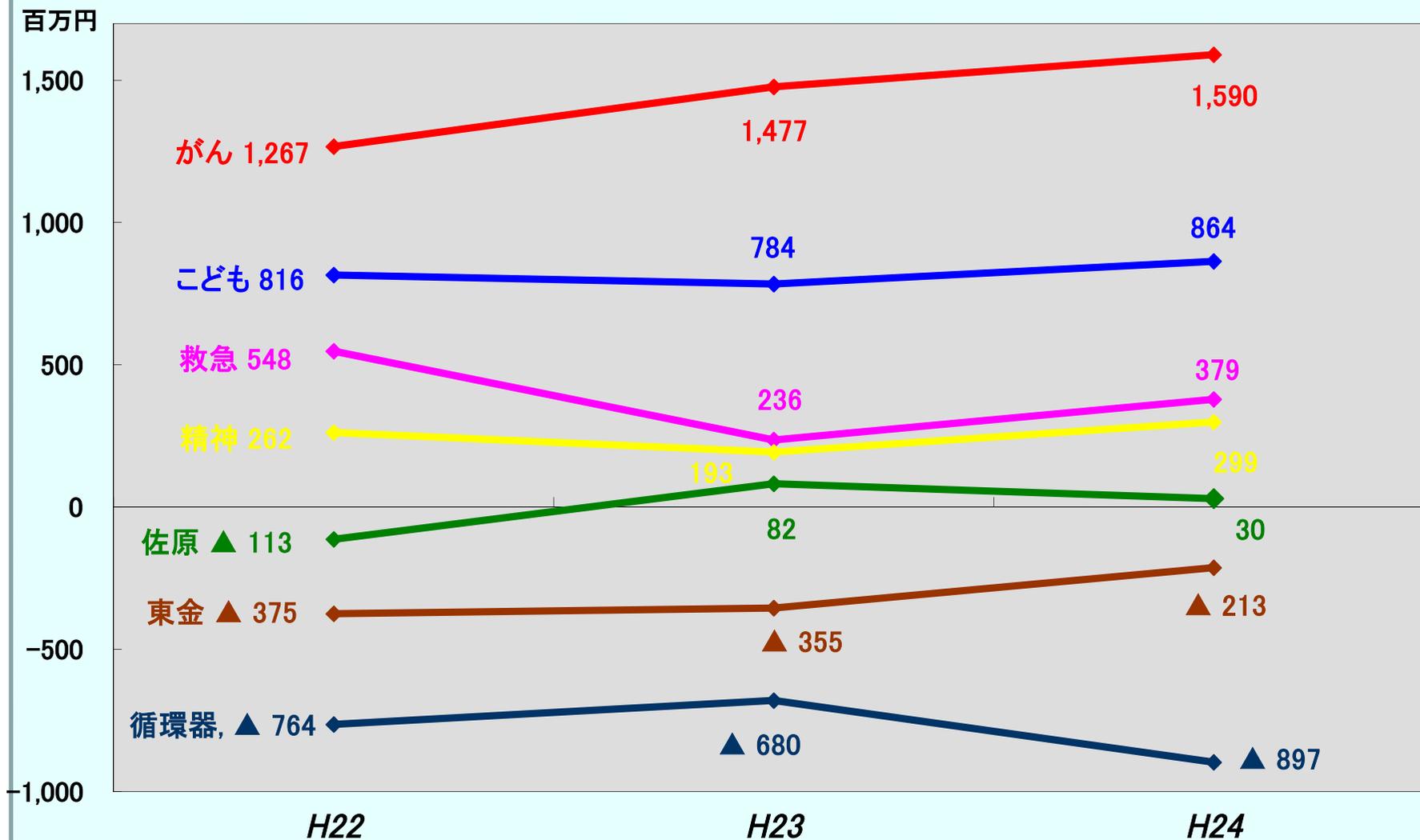
収益の+2.3%に対し、材料費や経費の抑制等に努め
+2.0%にとどまった

5-8 総収支の推移(病院事業全体)



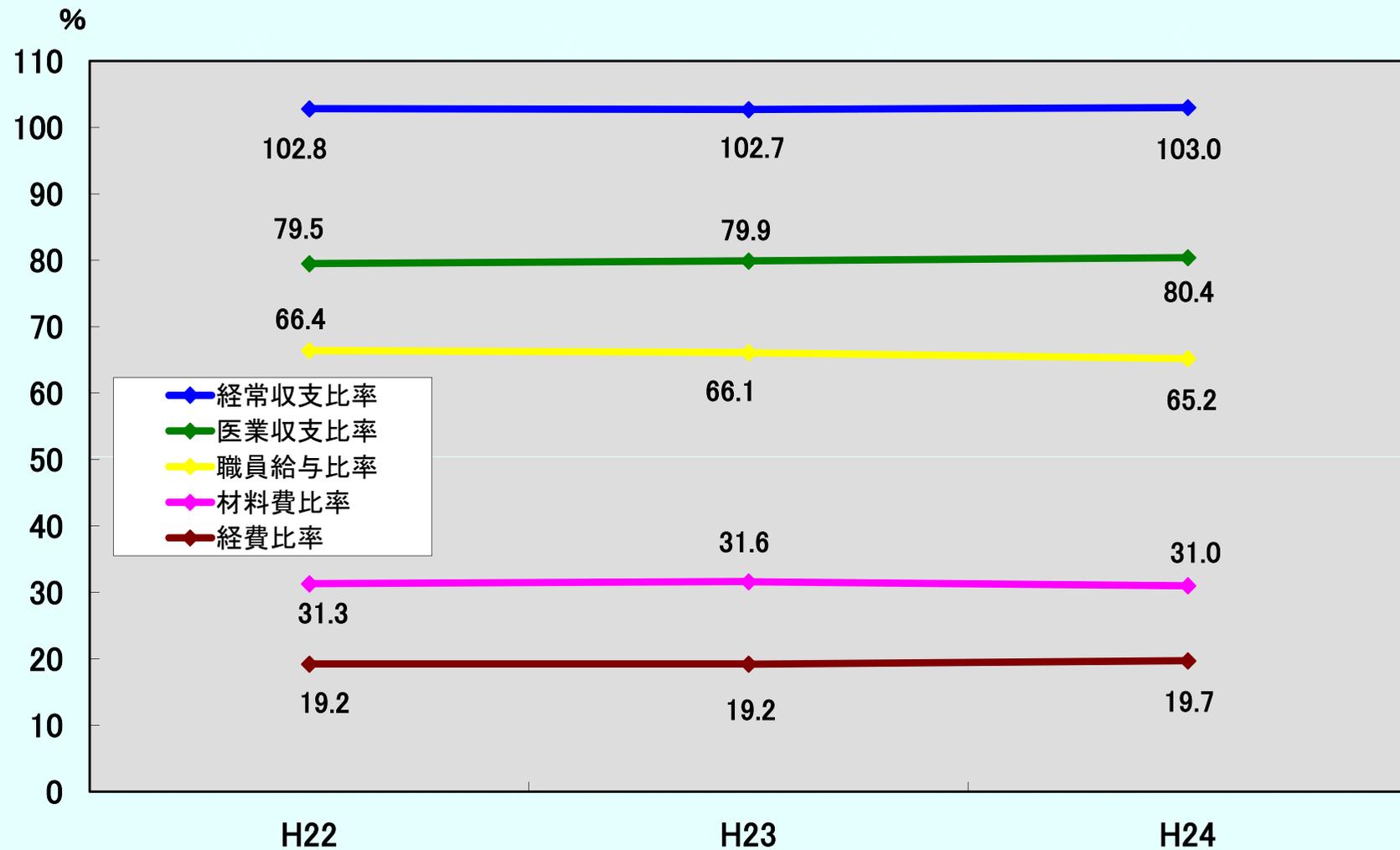
H24年度は純利益を12億8,716万円確保し、H22年度から3年連続の黒字となった。

5-9 病院別収支の推移



5病院で、手術件数の増、患者増、診療報酬改定等による
収益増

5-10 主な指標の推移(病院事業全体)



6 平成25年度上半期の状況(医業収益の対計画値・前年度比較)

(単位:人、百万円、%)

	計画(H25) ①	25年度上期 ②	24年度上期 ③	23年度上期	対前年 増減②-③	②/① (上期)
延入院患者数	371,673	170,320	175,890	178,126	△5,570	45.8%
延外来患者数	524,129	258,434	266,056	255,367	△7,622	49.3%
計	895,802	428,754	441,946	433,493	△13,192	47.9%
入院収益	23,388	11,525	11,475	10,921	50	49.3%
外来収益	10,078	4,857	4,821	4,664	36	48.2%
その他医業収益	442	206	202	214	4	46.6%
医業収益	33,908	16,588	16,498	15,799	90	48.9%

25年度の病院局の取組状況

病院局

1. 患者サービスの向上

患者・県民への情報提供、利用者サービスの向上

25年度の取組状況

○患者向け広報紙「千葉県立病院ニュース」の発行

- ・各県立病院で行っている治療や健康レシピの紹介など、取組内容を患者さんに広報するため、25年3月から発行。各県立病院で配布（年4回発行）。

○県立病院ホームページリニューアル

- ・県立病院が提供する情報をより効果的に発信するため、25年度末までに、よりわかりやすいホームページとなるよう見直しを行うとともに、患者向けコンテンツなどの充実を図る。

○患者満足度調査の実施

- ・外来患者、入院患者を対象に医療面、接遇、環境、待ち時間、食事、駐車場などについて満足度調査を実施し、快適な療養環境の整備促進等に努めている。

病院局

2. 良質な医療サービスの安定的提供

医療の質の向上

25年度 of 取組状況

○高度専門的な医療等の推進

・先進医療の実施状況(H25(9月末現在))

- ・抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子検査〔がんセンター〕9件
- ・術後のホルモン療法及びS-1内服投与の併用療法〔がんセンター〕58件
- ・急性心筋梗塞に対するエポエチンベータ投与療法 急性心筋梗塞
(再灌流療法の成功したものに限る。)〔救急医療センター〕1件

・医療機器の整備(H25)

- ・リニアック(高精度放射線外照射システム)〔がんセンター〕
- ・MR I 3T(磁気共鳴画像診断装置)〔循環器病センター〕

病院局

2. 良質な医療サービスの安定的提供

人材の育成・確保①

25年度の取組状況

○医師の確保

- ・千葉大学をはじめ、医科大学に対する医師の派遣要請
- ・初期臨床研修・レジデント制度による若手医師の確保・育成 等
 - ⇒25年度採用：臨床研修医10名、レジデント11名
 - ⇒26年度採用予定：臨床研修医 11名、レジデント6名（追加募集中）
- ・管理職医師を支給対象とした特殊勤務手当の引き上げ(25年4月～)

○看護師の確保

- ・看護師の夜勤専従制度及び看護補助者の夜勤制度の導入
- ・キャリア開発支援：認定看護師の育成
 - ⇒25年度：5名取得（計43名）
- ・看護師長、認定看護師等を支給対象とした特殊勤務手当の新設(25年4月～)

病院局

2. 良質な医療サービスの安定的提供

人材の育成・確保②

25年度の取組状況

○コメディカル職等の確保

⇒25年度 : 薬剤師16名, 放射線技師1名, 視能訓練士1名, OT 1名、
臨床工学技士1名、MSW 2名

⇒26年度予定 : 薬剤師 4名, 臨床工学技士1名、MSW 2名

○社会人採用

⇒19年度から実施 : これまでに5名採用

○資格取得支援等

・病院局職員の資格取得支援⇒25年度 : 135名

・病院局職員の海外視察研修⇒25年3月実施 : 23名

【海外視察研修先】

- ・UCLA Medical Center(米)、Stanford Hospital & Clinic(米)
- ・Kings College Hospital(英)、Hospital Henry Duant (仏)

病院局

3. 経営基盤の確立

収入の確保・費用の削減

25年度の取組状況

○診断群分類別包括制度(DPC)の導入

⇒循環器病センターが24年に準備病院となり、26年の移行を目指す

○薬品、診療材料、給食材料、事務用品等の共同購入

⇒薬品共同購入品目数 (H24上半期) 3,345品目→(H25上半期) 3,443品目

○後発医薬品の利用推進

⇒23年に後発医薬品採用検討委員会を設置、25年は2回開催

採用品目数：(H24.4)674品目→(H25.4)786品目

○委託業務に関する一括契約

⇒エレベーター設備保守点検、消防設備保守点検、CT・MRI等の保守点検 等

病院局

3. 経営基盤の確立 効率的な病院運営

25年度の取組状況

○次期病院情報システム

- ・電子カルテ、オーダーリングシステム等の基幹システム
⇒システム共通化に向けた取組を推進
- ・各病院の医療データのバックアップシステム
⇒ 25年度から運用開始。

○テレビ会議システムの更新(25年11月～)

- ⇒会議予約や録画機能等、新たな機能の充実を図った。

病院局

4. 施設の整備

計画的な施設の整備

25年度の取組状況

○がんセンターの施設整備

⇒24年度は、がんセンターの今後担うべき機能や役割等について「施設整備基本計画」を策定。これを踏まえ、25年度は、基本設計の策定を進める。

○救急医療センター・精神科医療センターの施設整備

⇒24年度は、建設候補地における津波・高潮等に関する災害対策調査を実施。25年度は、全国的にも例のない一体的整備を検討するに当たり、両センターの連携によって可能となる医療等について、基本調査を行う。

○東金病院の閉院について

⇒平成26年3月の閉院に向けて、機能移転など引き継ぎを進める。

千葉県がんセンターの現況・課題

特徴

基本理念

基本理念「心と体にやさしいがん医療」

県がん拠点

都道府県がん診療連携拠点病院として高度専門医療を提供

中核病院

「千葉県がん対策推進計画
「がん医療の中核」との位置づけ

患者支援

「心と体総合支援センター」
地域で患者・家族を支える取組み

研究開発

「臨床研究総合センター」
治験積極的な受入れ、新薬開発などの研究

安定経営

患者受入れや治療件数等において高い業務効率と比較的良好な経営状態を維持

課題

狭小化

91.5㎡/床 ⇨ 他事例平均 117.7㎡/床

- ・患者、家族アメニティの低下
- ・プライバシー確保が困難
- ・外来における相談・面談スペースの不足
- ・新たな放射線機器等の増設スペース確保が困難

老朽化耐震化

施設の大半が築40年超で、一部は耐震強度不足の状態

将来の患者増

千葉県のがん患者はさらに増加
受入れ体制の拡充が必要

高齢化率	がん患者数
21.5% → 31.9% (平成22年) (平成42年)	27,635人 → 38,906人 (平成22年) (平成42年)
1.48倍	1.41倍

新センターの中長期的な目標

1 がんによる死亡者の減少への貢献

- 高度・先進的ながん医療の強化・充実
- オリジナルながん研究に基づくトランスレーショナルリサーチの積極的推進
- ICT(情報通信技術)による双方コミュニケーションを利活用した県内のがん医療の質向上

2 患者・家族・地域に信頼され、スタッフの働き甲斐を支える病院づくり

- 療養環境、患者・家族サービスの改善
- 患者や地域とがんセンターとのつながりを実現する機能の強化
- 緩和ケアの受入れ拡充・在宅緩和ケアへの支援体制の強化
- 優秀なスタッフを「集め・育てる」機能と施設

3 安定的な運営・経営基盤の確立

- 安定的な経営健全体質の維持
- 医療安全の更なる推進

施設整備方針

1 高度・先進的ながん医療の提供を実現可能な施設

- 機能性を高める診察配置と診療スペースを確保します。
- 将来的な医療・環境の変化に対応できる拡張性を確保します。
- BCP(事業継続計画)概念に基づく災害に強い病院づくりを図ります。

2 患者・家族・地域に信頼され、スタッフの働きがいを支える病院

- 居心地が良く、患者の治癒力や生きる希望を支える病院を目指します。
- スタッフが働きやすい施設・設備の整備を図ります。

3 安定的な運営・経営に資する施設

- 工事期間中の診療制限を最小限にし、次期整備にも円滑に移行できる施設計画とします。
- ライフサイクルコストを考慮した整備計画とします。
- 省エネルギー・環境負荷・周辺環境への調和を実現します。

施設概要

現状		整備後		
病床数	341床	病床数	450～500床	従来の患者増と緩和ケアニーズの増大等への対応
1床あたり面積	91.5㎡/床	1床あたり面積	110㎡/床程度	近年整備した他のがん専門病院の平均値(117.7㎡)を参考
駐車場台数	271台	駐車場台数	415台以上	想定増患率と、現状の駐車場待ちによる混雑解消の必要性を考慮
外来診察室数	35室	外来診察室数	50～60室	ストーム外来などの管理外来等を拡充
通院化学療法室	35ベッド	通院化学療法室	50ベッド程度	リクライニングチェアや個室ベッドを整備
手術室数	7室	手術室数	13室程度	増床規模等を考慮した空数を整備

県立病院の取組状況

がんセンター

センターの計画

- 患者サービスの向上
- 良質な医療サービスの安定的提供



25年度の取組状況

- プレハブ事務所棟の建設と外来改修
- ダビンチによる手術は、泌尿器科に加え消化器外科・婦人科でも実施し、総手術件数は200件を超えた。また、形成外科を設けリンパ浮腫や乳房再建術などを手がけるようになった。
- 千葉県がん対策推進条例や次期がん対策推進計画が策定され、都道府県がん診療連携拠点病院として、新たながん医療に対する取組を進めている。

救急医療センター

センターの計画

- 全県に対する救急医療の安定的供給への支援
- 地域医療連携パスの活用及び連携先の拡充
- 患者受け入れ体制の強化
- 患者サービスの向上



25年度の取組状況

- 東葛飾地域に加え、山武・長生・夷隅地域における「救急コーディネート事業」を実施。ドクターヘリ(千葉県消防防災ヘリを含む)による救急患者受入増加(平成24年度116件)
- 「千葉県共用脳卒中地域医療連携パス計画管理病院協議会」を通じて、連携パスの効率的活用を推進。
- 地域医療連携室に専従師長を配置し、ベットコントロールを強化。
- 看護師配置基準の改定(H24)を受け、病棟再編を施行。

精神科医療センター

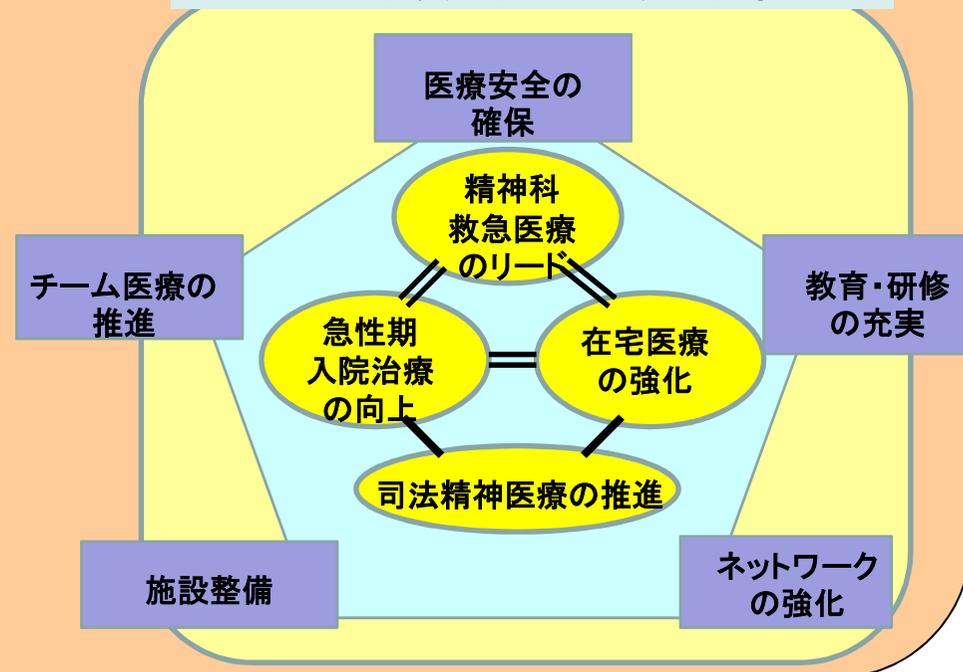
病院の計画

- 医療相談の充実と包括的地域ケアの推進
- 精神科三次救急医療施設としての機能発揮

25年度の取組状況

- 在宅患者への重要なサポート機能を発揮している電話相談事業の一層の充実、訪問看護、デイホスピタルセンターの強化
- 精神科救急医療システムの円滑な運用を図るため、基幹病院、輪番病院等との連携強化

～2013年度以降の中期的目標～



こども病院

病院の計画

- 良質な医療サービスの安定的提供
- 計画的な施設改修の実施



25年度の取組状況

- 部署毎に「質に関する臨床指標」を設定し、その達成度を評価し、病院全体の医療の質向上を図る
- 施設の長寿化及び病院機能の充実のために、費用対効果を勘案しながら、計画的に改修・整備を実施しており、25年度は、高圧遮断機の交換、病棟トイレ・流し台の修繕等を行った

循環器病センター

センターの計画

- 新型ガンマナイフの更新(パーフェクション)で治療開始
- 東金病院の機能移転に伴う受け入れ体制
- 圏央道開通に伴う救急患者受け入れの強化
- DPCの導入による安定した経営基盤づくり



25年度の取組状況

- 完全自動化された新型のガンマナイフへの更新で、治療制度の向上・治療領域の拡大が可能となり、さらに多くの脳疾患治療を開始
- 糖尿病の重症化予防と慢性腎臓病(透析ベット10床)治療に向けた準備
- 医師会・救急隊との連携を深め、救急患者の搬送増加
- 24年度からDPC準備病院として、収益向上に向けた取組

東金病院

病院の計画

- 糖尿病等の診療機能の強化
- 閉院に向けた円滑な医療機能等の移管



25年度の取組状況

- 「疾病管理MAP」の活用や院内の多職種連携により糖尿病等の慢性疾患患者に対する透析予防など重症化防止の取組みを進める
- 閉院に向け、慢性疾患患者の重症化防止等の取組みについては県立循環器病センターへの機能移転を進めていく

佐原病院

病院の計画

- DPCへの対応
- 病棟薬剤管理指導体制の充実



25年度の実施状況

- 施設基準の新規届出等によりDPCの請求に係る医療機関関係数が上がり収入の増加
(今後、H26年度の診療報酬改定を踏まえ取り組んでいく。)
- 今年度は、薬剤師を増員し、全病棟に専任配置し、薬剤管理指導業務を実施
(H25.7より病棟薬剤業務実施加算)